|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校国語科書写用 |

|  |
| --- |
| 「新しい書写」**臨時休業明けの****年間指導計画参考資料****【２年】** |

令和2年（2020年）7月版

※本資料は，令和２年度用「新しい書写」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を，一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて，適宜ご活用いただければ幸いです。なお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。また，次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

東京書籍

「新しい しょしゃ 二」（第２学年）年間指導計画

・グレー部分…学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動

＊各単元の「観点別評価規準」は，弊社教育情報サイト 東書Eネットで公開している「令和2年度 年間指導計画作成資料」をご覧ください。

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/list/keikaku.html#section1

| 単元名 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ●あつめてつかおう，「しょしゃのかぎ」●しょしゃの学び方①楽しく書こう・文字を書くしせい・書きやすいもち方表紙裏～p.7◎学習指導要領の内容：〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)【用具】鉛筆 | ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を理解することができる。○書きやすい姿勢や鉛筆の持ち方を理解して書くことができる。 | 2 | ①１年間の学習の流れを見通す。②書写の学習の進め方を理解する。③書くときの姿勢や筆記具の持ち方を見直し，書きやすい姿勢・鉛筆の持ち方を改めて理解する。【姿勢・持ち方】④姿勢・鉛筆の持ち方について，自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②かたかなの書き方・「止め」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」p.8～9◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆・水書用筆 | ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①片仮名の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。【点画の書き方】「止め」「はね」「払い」②「止め」「はね」「払い」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。③片仮名の「折れ」「曲がり」の書き方を確認する。【点画の書き方】「折れ」「曲がり」④「折れ」「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。⑤自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②かたかなの書き方・文字くらべp.10～11◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆 | ○字形の似ている片仮名と漢字や，片仮名と平仮名を比べて，違いに気づいて正しい字形で書くことができる。 | 3 | ①片仮名と平仮名，片仮名と漢字を比べて，似ているところと違うところを確認する。②片仮名と漢字，片仮名と平仮名のそれぞれの違いに注意して書く。 | ○③の一部→授業内で「ソ」「ン」「ツ」「シ」の点画の方向を確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。【時間】0.5時間 |
| ③似ている片仮名の，点画の方向の違いに注意して書く。 |
| ④自己評価・相互評価をする。 |
| ③かん字の書き方・点画の名前p.12～14◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆・水書用筆 | ○漢字の点画の名称と書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①漢字の点画の名称を確認する。【点画の書き方】「横画」「縦画」「折れ」「点」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」②漢字の点画に通じる線の練習をする。③漢字の点画の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。④自己評価・相互評価をする。○水書用紙と水書用筆等を使用して，点画の書き方を確認する。 |  |
| ○生活に広げよう・れんらくちょうを書こうp.15◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆 | ○平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解し，連絡帳を書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習の点画の書き方を確認する。②既習事項を生かして，連絡帳を丁寧に書く。③自己評価・相互評価をする。 |  |
| ③かん字の書き方・ひつじゅんのきまりp.16～17◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○筆順の原則を理解し，原則に従って正しく書くことができる。 | 2 | ①筆順の原則を確認する。【書くときの動き】筆順の大原則（上から書く，左から書く），形が同じ部分は同じ筆順で書く。②筆順の原則に注意して，筆順に従って書く。③自己評価・相互評価をする。 |  |
| ③かん字の書き方・画の長さp.18～19◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆（フェルトペン）  | ○画の長さの整え方を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の長短の整え方を確認する。【字形】画の長さ（「横画」） | ○②の一部→①の学習活動をふまえて，②の学習活動の一部を授業以外の場で行う。【時間】1時間 |
| ②「横画」の長さの整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ③かん字の書き方・「おれ」のむきと「はらい」のむきp.20～21◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○「折れ」の方向を理解し，正しく整えて書くことができる。○「払い」の方向を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「折れ」の方向の整え方を確認する。【字形】画の方向（「折れ」） | ○②④の一部→①③の学習活動をふまえて，②④の学習活動の一部を授業以外の場で行う。【時間】1時間 |
| ②「折れ」の方向の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③「払い」の方向の整え方を確認する。【字形】画の方向（「払い」） |
| ④「払い」の方向の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ⑤自己評価・相互評価をする。 |
| ○生活に広げよう・かんさつしたことを書こうp.22～23◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆ほか★他教科との関連：生活 | ○既習事項を理解して，観察カードを書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習事項を確認する。②既習事項を生かして，観察したことを，カードに丁寧に書く。③自己評価・相互評価をする。  |  |
| ③かん字の書き方・画のつき方と交わり方p.24～25◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の接し方と交わり方を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①画が離れているところ，接するところ，交わるところを見つけ，画の接し方と交わり方を確認する。【字形】画の接し方，画の交わり方 | ○②の一部→①の学習活動をふまえて，②の学習活動の一部を授業以外の場で行う。【時間】1時間 |
| ②画の接し方と交わり方の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ③かん字の書き方・文字の形p.26～27◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の外形を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①文字の外形の整え方を確認する。【字形】外形（真四角，縦長，横長，下が広い，上が広い，中が広い） | ○①の一部→授業内で，例示された漢字の6種の外形を確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。【時間】0.5時間 |
| ②外形の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ◇文字のいずみ・書きぞめをしようp.28～29◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆・フェルトペン | ○既習事項を理解して，書き初めを丁寧に書くことができる。 | 2 | ①既習事項を確認する。 | ○①で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で②の学習活動に取り組む。【時間】1時間 |
| ②既習事項を生かして，丁寧に書き初めをする。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ◇文字のいずみ・かん字のなりたちp.30★他教科との関連：国語 | ○漢字の成り立ちを知って，漢字を書くことへの興味を高めることができる。 | ― | ①形が似ている漢字の，それぞれの成り立ちを知り，書写学習に興味をもつ。 |  |
| ◇文字のいずみ・書いてあじわおう〈いろは歌〉p.31【用具】鉛筆★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして，丁寧に書くことができる。 | ― | ①既習事項を生かして，我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 |  |
| ③かん字の書き方・文字の中心p.32～33◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の中心を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①文字の中心の整え方を見つける。【字形】文字の中心（「縦画」「点」，画が接するところ，「横画」の中央） | ○②の一部→①の学習活動をふまえて，②の学習活動の一部を授業以外の場で行う。【時間】1時間 |
| ②文字の中心の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ③かん字の書き方・画のむきと，画と画の間p.34～35◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の方向の整え方を理解し，正しく整えて書くことができる。○画の間隔の整え方を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の方向の整え方を確認する。【字形】画の方向（「横画」）②「横画」の間隔の整え方を確認する。【字形】画の間隔 | ○③の一部→①②の学習活動をふまえて，③の学習活動の一部を授業以外の場で行う。【時間】1時間 |
| ③画の方向と間隔の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ④自己評価・相互評価をする。 |
| ○学びを生かそう・二年生のまとめp.36～37◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち，既習事項を生かして，正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①１年間の既習事項を振り返る。②既習事項の中から，自分のめあてを立てる。③自分の立てためあてに注意して書く。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ○学びを生かそう・「ありがとう」をつたえようp.38～39◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】鉛筆・フェルトペンほか★他教科との関連：国語，生活 | ○既習事項を理解して，文章を書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①１年間の既習事項を確認する。 | ○①で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で②の学習活動に取り組む。【時間】0.5時間 |
| ②既習事項を生かしながら，感謝の気持ちを伝える手紙やカードなどを丁寧に書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |